

# 丹後地域医療再生計画の概要

— 医師等にとっても魅力ある医療環境づくりによる地域医療の再生 —

## 1 趣 旨

- i 国の地域医療再生基金を活用し、『京都府全域』において、厳しい現実にある医師確保をはじめとする医療提供体制の充実強化に取り組む。
- i また、特に少子高齢化と医療過疎が進む『丹後医療圏』においては、医師、看護師等の医療従事者にとっても魅力ある環境づくりに努め、医療提供体制の底上げを行う。

## 2 対象地域

『丹後医療圏』

なお、医師確保をはじめとする医療提供体制の充実強化は、『府全域』を対象に取組

## 3 期 間

平成21年度～平成25年度

## 4 現状分析

- ① 医療資源
  - ・医師、看護師等の医療従事者及び医療機関の都市部への偏在
  - ・特に高齢化、医療過疎が進む丹後医療圏の脆弱な医療提供体制
- ② 救急医療
  - ・搬送件数の増加、患者の質の変化、搬送時間の短縮課題
- ③ その他4疾病・5事業対策等
  - ・総じて医師、看護師等の医療従事者、医療提供体制の不足

## 5 課 題

### ◆ 京都府全域

- 人口10万人対医師数が全国平均206.3人を下回る5医療圏における医療従事者不足等を克服する医療提供体制の充実強化

### ◆ 丹後医療圏

- 厳しい医師不足(人口10万人対151名、無医地区集中)に起因する医療過疎の克服
- 医療施設が少ない(6病院74診療所)ことによる救急等4疾病・5事業対策の不足の解消

## 6 目 標

### ◆ 京都府全域

- 府立医大における講座開設、府立医大医学部の定員増、救急専門医養成等の各種医師等確保対策を通じて、特に北部圏域や南部圏域での医師不足の解消を図り、全ての医療圏において医師数等を全国平均水準まで引き上げ
- その他 I Tを活用した病診連携の促進等による医療提供体制の充実強化

### ◆ 丹後医療圏

- 各種医師等確保・定着対策により、医師数を全国平均水準まで引き上げるとともに、府立医大等からの派遣医師の平均派遣期間を現状の2年程度から3年程度に延伸(一部再掲)
- 医療施設の有機的連携・ネットワーク、専門医確保、設備整備等により、救急等4疾病・5事業をはじめとする地域完結型の医療提供体制を実現

## 7 具体的な施策

総事業費 31 億 1 千万円 (基金 25 億円、国庫 8 千万円、医療機関等事業者負担 5 億 3 千万円)

### (1) 京都府全域

#### ⅰ 府立医大等と連携した医師確保プロジェクト

事業費 10 億 5 千万円 (基金 6 億 9 千万円)

施 策 内 容
① 「地域専門医療講座」の開設と「医大医療センター」の機能強化 ・ 医師確保のための医大における「講座」の開設 ・ 医大医療センターの医師確保機能の強化
② 「医大地域医療確保枠」の拡大 ・ 医大医学部の定員 2 名増
③ 「医師奨学金制度」の拡充 ・ 貸与枠の 5 名増
④ 「医師バンク」を通じた退職医師等の集中確保 ・ 大規模な公募の展開
⑤ 「地域医療貢献使命感養生現地研修(医学生、看護学生)」の拡充 ・ 現行の北中部病院等現地研修の人員、期間等の充実
⑥ 救急医療の専門的知識を有する医師等の養成と代替職員の確保 ・ 研修期間中の代替医師採用に対する補助
⑦ 「在宅歯科医療サポートセンター」の整備支援 ・ センター増設、訪問歯科診療機器の整備支援
⑧ 「院内保育・病児保育施設」の集中整備支援 ・ 院内保育所、病児保育所の整備に対する補助
⑨ I Tを活用した病診連携等の促進 ・ クリニカルパス作成、情報共有 IT の整備

## (2) 丹後医療圏

### ⅰ 医師等確保・定着対策（ふるさと医療支援プロジェクト）

事業費 7 億 7 千万円（基金 5 億 2 千万円）

施 策 内 容
① 自治医大、医大、丹後出身医師等の「ふるさと丹後医療ネット」の設置 ・人的つながりによる医師確保、医療機関運営の応援
② 「高度医療研修、学会」への参加支援 ・研修参加時等における代替要員の確保 ・丹後地域で勤務した医師の海外研修等参加に対する補助
③ 「医師事務作業補助者」の確保 ・診察記録等の事務作業から医師等の専門職を解放する補助事務者の設置に対する補助
④ 「看護師復職特別講習等」の実施 ・潜在看護師の復職実地講習会等の開催
⑤ 福祉サービスへの橋渡し「圏内調整ソーシャルワーカー」の養成 ・医師、看護師等の負担軽減のためのソーシャルワーカー設置に対する補助
⑥ 「新規診療所・既存診療所設備高度化特別支援」の実施 ・診療所整備、レセプト電子請求等高度化設備に対する補助
⑦ 「共同利用保育所」の整備 ・与謝病等へ病院等の職員が共同利用可能な院内保育所の整備
⑧ 医師、看護師等「地域共同利用宿舎」の整備 ・与謝病へ地域の病院等の職員（看護学校生含む）が共同利用可能な宿舎の整備

### ⅱ 救急医療等の 4 疾病・5 事業特別対策

事業費 12 億 9 千万円（基金 12 億 9 千万円）

#### ① 救急医療体制の総合化（断れない救急プロジェクト）

施 策 内 容
① 「丹後救急総力作戦」の実施 ・与謝病への救急専門医の配置と遠隔画像診断システムの整備を通じた関係医療機関が総力を挙げた救急診療の実施
② 広域ドクターヘリ運行支援 ・与謝病に配置する救急専門医のドクヘリスタッフ機能の発揮

#### ② 4 疾病・5 事業等対策の充実（重点疾病等対応プロジェクト）

施 策 内 容
① 重点疾病に対応する医療施設等の緊急整備 ・与謝病へ放射線治療室、感染症診察室の整備
② 「訪問看護ステーション」の緊急整備支援 ・圏内 8 箇所だけの訪問看護ステーションの整備促進補助
③ 「高度医療機器等の共同利用センター」の設置 ・与謝病へ医療機関が共同利用可能な高度医療機器等の整備
④ 「地域共同利用型電子カルテシステム」の導入 ・与謝病（地域医療支援病院）と病院、登録かかりつけ医等が共同利用可能な電子カルテシステムの整備
⑤ 「遠隔ロボット手術システム」の研究 ・医師不足を補完する遠隔手術システム導入に向けた調査検討